

1. 計画の概要について

計 画 名	富山県における地域交通計画		
答申主体	(旧) 中部地方交通審議会富山県部会		
策定年月	平成12年4月	目標年月	2010年
対象交通	鉄軌道、バス、タクシー(観光)等		
対象地域/ 計画の構成	<p>富山県全域とし、富山・高岡広域都市圏を「都市部」とし、それ以外の圏域を「地方部」として検討</p> <p>計画の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部における交通改善施策 <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者ニーズに対応した公共交通サービスの提供、 2. 中心市街地活性化に向けた公共交通の支援策、 3. 誰にでも使いやすく(人にやさしい)、利便性の高い交通運輸の推進、 4. 環境にやさしい交通運輸体系の構築(環境と共生)、 5. より安全で快適な車社会の形成、 6. 高度情報化を活用した公共交通サービスの提供、 7. 雪に対する交通体系の整備 ・地方部における交通改善施策 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通サービスの高度化・多様化、公共交通機関の利用促進、 2. 需給調整規制廃止後の生活交通の確保、 3. 誰にでも使いやすく(人にやさしい)、利便性の高い交通運輸の推進、 4. 環境にやさしい交通運輸体系の構築(環境と共生)、 5. 環境、観光と連携した交通運輸の整備、 6. 高度情報化を活用した公共交通サービスの提供、 7. 雪に対する交通体系の整備 ・都市部と地方部等の間における交通改善施策 		

2. 計画のレビュー（総括）

視点1：人々のモビリティを確保し、暮らしを支える公共交通の維持整備	
主な課題等	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
生活バス路線の維持確保への取組み	富山県では、地方バス運行対策費補助金（国庫補助）や生活バス路線運行維持費補助金（県単独補助）により民営バス路線を、市町村運行バス路線対策費補助金（県単独補助）により公営バス路線の維持確保に努めている。なお、民営バス路線については、国庫補助対象路線のほか、対象外路線についても一定基準以上の路線について、該当する市町村と協調して、運営費補助を行っている。なお、公営バスは18市町村において運営されているが、そのうち9市町村は廃止代替が含まれ、8市町村ではスクールバスを活用している。
タクシーの積極的な活用	富山県利用促進協議会バス部会にて、バス交通の活性化策を協議検討している。また、富山県公共交通活性化総合対策事業にて市町村が行う活性化方策に対し支援を行っている。 魚津市において乗合タクシーが運行されている。
利用しやすい鉄道輸送の確保	高岡市と新湊市を結ぶ万葉線がH14.4に第三セクター方式の新会社として経営を開始した。営業キロ12.8km、駅数24。H15年度中には、バリアフリー化されたLRV車両が導入されることとなっている。

視点2：都市活動を支え、利便性が高く、信頼性の高い公共交通の整備

主な課題や実施する施策	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
<p data-bbox="219 443 577 480">バス利用の利便性の向上</p> <p data-bbox="219 970 640 1054">バスロケーションシステム等の導入</p>	<p data-bbox="701 443 1928 480">富山市内において 12,680m の区間で平日の朝（07:30-09:00）バス専用レーンを設置。</p> <p data-bbox="701 539 2007 624">富山市・高岡市で市街地循環バスが運行されているほか、富山地方鉄道においても富山市内において循環バスを運行している。</p> <p data-bbox="701 683 1809 719">H11 以降、高岡市内の主要な路線において 30～40 分の終バス延長が行われた。</p> <p data-bbox="701 778 2007 911">H15 から富山市内において、デマンドバス運行を実施。高岡市コミュニティバスでは、中心市街地区間はフリー乗降区間を導入している。小矢部市・入善町等県内約 40 区間でフリー乗降区間を設定済み。</p> <p data-bbox="701 970 1944 1007">富山市・高岡市の主要な路線において PC や携帯電話への運行情報の提供を行っている。</p> <p data-bbox="701 1066 2007 1198">都市部を中心に 15 路線でバスロケーションシステムを導入し、バスシェルター、ベンチ等を一体化したハイグレードバス停も設置している。なお、高岡市においては、バスロケーションシステムの拡大について検討中。</p>

視点3：地域の自立を保障し、地域内交流・連携を促進する公共交通の整備

主な課題等	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
地域内高速バス路線網の整備	H14.10 現在、富山県内を発着とする高速バスは、北陸信越地域内では運行されていないが、富山 - 新潟間の高速バス運行が検討中。県内では下新川郡及び砺波地区から富山市への高速バス運行を運行中である。

視点4：地域に活力を与え、他地域との交流連携を強化する広域高速交通ネットワークの整備

主な課題等	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
<p data-bbox="219 443 479 480">広域鉄道的高速化</p> <p data-bbox="219 587 607 624">広域高速バス路線網の整備</p> <p data-bbox="219 730 640 815">航空路の充実及び空港へのアクセス改善</p>	<p data-bbox="714 443 2007 528">北陸新幹線の富山までの早期完成と南越までのフル規格による早期整備が図られるよう国等に対し働きかけを継続している。</p> <p data-bbox="714 587 2007 671">H14.10 現在、首都圏とは富山 池袋（昼2夜1）、氷見・高岡（昼1夜1）の富山県内を発着とする高速バスが運行されている。</p> <p data-bbox="714 730 2007 911">富山空港との間には札幌、函館、名古屋、福岡の4都市とそれぞれ1日当たり1便が、東京と1日当たり8便が運行されている。特に東京便についてはH14.7にJAL参入によりダブルトラック化された。また、富山駅から空港までは20～30分間隔で、高岡駅からは1日9往復の空港アクセスバスが運行されている。今後、砺波地区との間のバス運行を検討中。</p>

視点5：海外との有機的な交流の促進に資する交通ネットワークの整備

主な課題等	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
国際航空路の充実	H14.10 現在、ウラジオストク（週2便）、ソウル（週3便）、大連（週4便）の3都市との間で国際定期航空路が開設されている。また、H14年度には国際チャーター便が62便就航している。
国際航路の充実	富山伏木港との間でロシア、韓国、中国その他アジア地区との間で外貿定期コンテナ航路が開設されている。

視点6：個性ある地域づくり、観光振興と一体となった公共交通の整備

主な課題等	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
<p>地域観光振興を支える公共交通の整備</p> <p>国際観光支援</p>	<p>立山・黒部アルペンルートへの富山駅からの直通バスを H15 年度より富山空港経由とし、観光客の利便性の向上を図っている。</p> <p>民間事業者において主体的に定期観光バスのテーマ、訪問施設の見直しを実施し、観光タクシーを運行している。さらに「ようこそキャンペーン」を実施し、民間事業者を対象にホスピタリティーの醸成を目的としたセミナー等を開催している。</p> <p>「おわら風の盆」のようなイベント等の開催時には、臨時列車を増発し、観光客のゆとりある観光利便性の向上策を講じている。(同イベントにおいては3日間で100本程度増発)</p> <p>観光地誘導案内標識デザイン統一化促進事業において、看板等への外国語併記を実施している。また、富山県紹介パンフレット(Toyama Japan)を5ヶ国語にて作成し、希望者へ配布するとともに、とやま国際センターのHPにおいても同国語でイベント等を記載している。</p>

視点7：誰もが利用しやすく、快適でシームレスな公共交通の整備

主な課題等	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
交通旅客施設等のバリアフリー化の推進	富山県内においては、エレベータ設置駅数2であり、H15年度は魚津駅でのエレベータ等の設置に対して助成を行う。また、高齢者等が快適にバスを待つことのできる「やすらぎバス停」については3.8%の整備率(59整備バス停/1557全バス停)となっている。富山地方鉄道本線荏原駅で点字ブロックを設置している。
交通旅客車両等のバリアフリー化の推進	また、交通バリアフリー法に基づく交通バリアフリー基本構想等については、2市町村(魚津市・小杉町)にて策定済み。
福祉タクシー等の導入	超低床ノンステップバス、低床スロープ付きバス、リフト付きバス等については、H15.3末現在、富山市内では165台中21台(導入率13%)、高岡市内では77台中12台(導入率15.6%)となっており、市町村運行バスにおいては、44台中6台(導入率13.6%)となっている。
乗り継ぎのシームレス化	富山地方鉄道においては車椅子スペースを有する車両は5編成、立山開発鉄道では2編成導入済みである。
	車椅子対応型タクシー32両、ストレッチャーのみ対応車両1両。後部座席が回転するウエルキャブ車両は12社において29両有している。訪問介護事業者の指定は3事業者。
	高岡市コミュニティバスは高岡駅で万葉線停留所とバス停を近接させ、共通回数券も導入。

視点8：環境にやさしい公共交通の整備

主な課題等	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
<p data-bbox="219 443 636 528">マイカー交通における環境負荷の低減</p> <p data-bbox="219 778 636 863">マイカー交通から公共交通への利用転換</p>	<p data-bbox="698 443 2004 576">立山・黒部アルペンルートでは、40両の高原バスのうち、15両がハイブリッドバスに転換済み。今年度、ディーゼル微粒子除去装置の導入がバス11社 62両、トラック71社 384両について予定。</p> <p data-bbox="698 635 2004 719">主要地方道富山立山公園線の桂台 室堂でマイカー通行禁止の措置を実施しており、富山地方鉄道上滝線では、昼間における自転車の車内持ち込みを可能としている。</p> <p data-bbox="698 778 2004 1007">県内35市町村中、26市町村の鉄道駅で合わせて自動車9210台、自転車22574台のパークアンドライドが可能となっている。富山地方鉄道舟橋駅等でパークアンドライドの推進が行われているが、今年度はJR魚津駅での整備を予定している。さらにJR呉羽駅でのパークアンドライドの導入についても検討されており、H15年度に実証実験が行われることとなっている。</p> <p data-bbox="698 1066 2004 1150">県をあげての「ノーマイカーデー県民運動」を拡充して実施している。これにあわせ、電車・バスの回数券も導入している。</p>

視点9：気象・災害に強い安心安全な公共交通の整備

主な課題等	主な課題等を解消するために取り組んだ施策及び現状について
<p data-bbox="219 443 640 480">冬季における安全輸送の確保</p> <p data-bbox="219 730 640 815">事故の無い安全な交通体系の推進</p>	<p data-bbox="714 443 2004 671">バスにおける冬季の運休等のダイヤの乱れは1シーズン当り2 - 3日程度であるが、運行確保のため、予備車を充当し、運行遅延等を最小限にするよう努めている。上屋整備等については、富山県公共交通活性化総合対策事業にて市町村が実施する施設整備に対して支援を行っている。また、民間事業者に対しても、運輸振興助成交付金において支援を行っている。また、民間事業者に対しても、運輸振興助成交付金において支援を行っている。</p> <p data-bbox="714 730 2004 863">災害時においては、災害対策本部において運行確保を行っている。第一次路線、第二次路線を設定し、状況に応じた輸送の確保を行っている。路線の維持率は100%となっている。</p>